

「第44回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

令和2年12月17日（木）18時15分

都庁第一本庁舎 7階特別会議室（庁議室）

【危機管理監】

それでは、第44回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開始いたします。

世界各国の感染の状況です。

感染者数につきましては、7,347万人の方、亡くなられた方については、163万人を超える方々が亡くなられています。

国内の発生状況になります。国内では合計で18万2,326名の方が感染、2,687名の方が亡くなられている状況です。

次、都内の発生状況になります。

12月16日20時の時点におきまして、陽性者の累計は4万8,668人、入院者数が1,960人、それぞれの療養につきましては、その下にある数字の通りです。

これまでに、退院等された方につきましては、4万3,041人の方が退院等をされています。

次、直近の都の動きになります。

12月14日第43回対策本部会議の開催をしております。

直近の都の対応につきましては、都内23区及び多摩地域の各市町村の酒類の提供を行う飲食店及びカラオケ店を対象に営業時間の短縮を要請しているところです。期間は1月11日までとなります。

次、新型コロナウイルス感染症への各局の対応です。

直近の各局の対応といたしましては、政策企画局から1都3県知事共同メッセージを12月8日に発出いたしました。

教育庁におきましては、年末年始における新型コロナウイルス感染症対策についてという通知を発出しております。

それでは、初宿健康危機管理担当局長からモニタリング会議の内容等についてご報告をお願いいたします。

【健康危機管理担当局長】

まず、先ほどモニタリング会議で報告されました専門家の分析結果についてご報告いたします。

専門家の方々からは、65歳以上の新規陽性者数が増加しており、高齢者への感染の機会をあらゆる場面で減らすことが必要であること、日常生活の中で感染するリスクが高まっており、医療提供体制の深刻な機能不全を避けるための最大限の感染拡大防止策が必要で

あることなどから、感染状況については、4段階のうち最高レベルの「感染が拡大していると思われる」との総括コメントをいただいております。

続いて、医療提供体制についてですが、入院患者の引き続き増加傾向に伴い、新型コロナウイルス感染症患者のための医療と、通常医療との両立が困難な状況となったこと、新規陽性者数の増加を抑制するための対策を強化し、重症患者数の増加を防ぐことが最も重要であることなどから、医療提供体制についても、4段階のうち最高レベルとなる「体制が逼迫していると思われる」との総括コメントをいただきました。

次のページでございますが、本日の陽性者数の状況でございます。

本日の陽性者数は 822 人となり、過去最高であった昨日を大きく上回る人数となりました。

性別でみると、男性が 469 人、女性が 355 人となっております。

年代別では、20 代、30 代が 370 人で全体の 45%を占めております。また、65 歳以上の高齢者は 112 人、全体の 14%となっております。

次のページでございます。

医療・宿泊療養体制についてです。

現在、都は、入院患者を受入れるため 3,000 床を確保してございますが、感染が拡大していることを踏まえ、昨日、重症病床を、250 床、中等症以下の病床を 3,750 床、合計 4,000 床を確保するよう、都内の医療機関に要請をいたしました。

宿泊療養施設については、本日、新たに 1 施設を開設いたしまして、合計 10 施設、約 4,000 室を整備してございます。

また、現在は 65 歳以上の高齢者は一律に入院としておりますが、70 歳未満で基礎疾患のない方の宿泊施設での療養について検討して参ります。

次のページでございます。東京 i C D Cからのメッセージでございます。

本日のモニタリング会議で、東京 i C D Cの賀来先生から「いつもと違う年末・年始」の過ごし方について、初詣や帰省、会食での注意点を告示いただきました。

次のページ、都民向け感染予防ハンドブックの概要でございます。

東京 i C D Cでは、都民向けの感染予防ハンドブックを作成し、本日から都のホームページ等で発信をしてございます。

私からは以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

ここで、各局からご発言等ある方いらっしゃいましたらお願いします。

ウェブで参加の皆様から何かご発言等ありますか。

それでは、本部長から指示をお願いしたいと思います。

【都知事】

第 44 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議です。

本日のモニタリング会議での分析において、医療提供体制がオレンジ色から最高レベルの赤色となりまして、感染状況・医療提供体制ともに赤色となっております。

専門家の先生方からは、医療提供体制がひっ迫しているとのこと指摘をいただいております。

本日の重症者数は、昨日から 3 名減少いたしまして 66 人であり、一方、本日、新規陽性者が 822 人となり、過去最高でありました昨日の 678 人を大幅に上回る数となっております。これまで以上に危機感を持つ必要がございます。

モニタリング会議での分析結果を踏まえますと、現在の状況は、感染拡大について都民、そして事業者に強いメッセージを発し、より一層の注意喚起を行うべき状況にあると考えます。

各局においては、特別な危機感を持って、年末年始に向けた更なる対策について、スピード感を持って推進・検討をお願いします。

この後、臨時記者会見を開きますが、都民・事業者の皆様に対して、感染拡大防止のための呼びかけを行って参ります。

都といたしましては、常に申し上げている三本の柱「死亡者を出さない」「重症者を出さない」「医療提供体制の崩壊を防ぐ」を軸に、何よりも大切な、都民の命を守り抜いていく。それぞれが主体性を持って、そして当事者としてしっかりと対応してください。危機感を持って進めて参りましょう。よろしくお願いします。

【危機管理監】

ありがとうございました。

以上をもちまして、第 44 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。